

《学校教育目標・めざす子ども像》

「心豊かでたくましく 学び続ける子どもの育成」

- ・ 生命を大切にし、思いやりのある子 … 徳
- ・ 健康でたくましく、最後までやりぬく子 … 体
- ・ 自ら学び、ともに学ぶ子 … 知
- ・ 3つのあ のできる子 (あいさつ・あつまり・あとしまつ)

《めざす学校像》

「信頼される学校 魅力ある学校」

- ・ 居場所と絆のある学校
- ・ 安全で美しい学校
- ・ 開かれた学校

「誰もが行きたくなる学校」

(子ども・保護者・地域・教師)

—笑顔いっぱい七松小学校・凡事徹底 —

《めざす教師像》

- ・ 子どもを愛し、全ての子どもの可能性を拓く教師
- ・ 研修と研鑽に励み、人格と教育技能を磨く教師
- ・ 家庭と地域に信頼される教師

＜努力事項及びにその設定理由＞

① 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる

ア 授業改善の取組を促進するとともに家庭との連携により、学力向上を推進する。

イ 特別支援教育の取組を促進し、自立と社会参加に向けた主体性を育成する。

○各担任が、学級経営案を作成し、指導の重点を明らかにして指導にあたる。

○確かな学力の定着に向け、学力向上担当を中心とした教職員の協働体制のもと、学力調査等の結果をもとに、学力や生活の現状と課題を明らかにし、対策を検討・実施する。

(国語を中心とした授業改善、主体的な家庭学習の習慣化、朝読書と昼のチャレンジタイムの計算、放課後学習で基礎・基本の育成)

○校内研究のテーマのもと全員が授業公開を行い、指導力向上に努め、多様な学び、主体的・対話的で深い学びを目指す授業を創る。

○学習上・生活上配慮を必要とする児童の教育的ニーズを把握し、個別の指導計画等を作成するとともに、全校体制によるインクルーシブ教育を見据えた特別支援教育を充実する。

○「兵庫型学習システム」(5・6年生)を活用し、中学校への円滑な接続、及び個に応じた多様な教育を推進するとともに、小・中学校においては義務教育9年間で子どもの成長を育むという視点に立ち、系統的・連続的な指導や支援をするための連携を強化する。

○学習者用コンピュータや校内ネットワークを活用し、より効果的に学習指導を行うとともに、これから時代に必要な情報活用能力等を育成する。

② 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る

- ア 道徳性育成の取組を推進し、思いやりに満ちた人間関係及び社会とのかかわりづくりに努める。
- イ 基本的生活習慣確立の取組を促進し、心身共に健全な育成を図る。
- ウ キャリア教育の取組を推進し、新しい時代に必要となる資質・能力を育成する。

- 特別活動を要として、自己有用感や所属感を味わうことができる機会を積極的に設け、身近な課題を主体的に解決しようとする実践的態度を育成する。
- 日常生活の中で互いを尊重し合う人間関係づくりに努め、支持的風土や規範意識を醸成する。
(あいさつ・掃除・学校のきまりや社会的ルールを守ることなどの指導 = 凡事徹底)
- 児童の内面理解に努め、家庭や地域と連携しながら自己指導能力を育成し、規則正しい生活習慣を確立させるとともに、自律性の育成及び問題行動の抑止を図る。
- いじめ、不登校等の対応について、未然防止、早期発見・早期対応を基本に、保護者やSC、SSW及び専門機関等との連携を強化し、児童や保護者の相談しやすい体制づくりに努める。
- 夢や希望、目標をもって自己実現を図るため、将来の進路を主体的に選択・設計できる能力・態度を育成する。(キャリアノートの活用)

③ 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む

- ア 食育の推進、アレルギー対応、保健指導の充実を図り、望ましい生活習慣を育成する。
- イ 「する・みる・ささえる」スポーツ活動の取組を促進し、体力・運動能力の向上を図る。

- 食育の推進体制の整備、及び家庭と連携して食育の充実を図るとともに、保健指導の充実を通して、望ましい生活習慣の育成に努める。「早寝・早起き・朝ごはん」の推奨、啓発。
- 「する・みる・ささえる」スポーツ活動に取り組ませ、運動する楽しさや感動、喜びを味わわせ、体力・運動能力の向上を図る。

④ 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る

- ア 安全教育の取組を推進し、校内及上下校の安全確保を図る。
- イ 防災教育充実の取組を推進し、危機管理能力の向上を図る。

- 危険予測・危機回避能力の育成に努め、保護者や地域、関係機関と連携して、学校内での事故防止及び上下校の安全確保に取り組む。
- 防災・減災を学ぶ機会を充実するとともに、危機管理マニュアル等の改良・改善を図り、危機管理能力の向上を図る。

⑤ 学校・家庭・地域の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校づくりに取り組む

- ア 教職員の資質向上の取組を推進し、学校の組織力・協働体制及び教育水準の維持・向上を図る。
- イ 地域資源活用の取組を促進し、開かれた学校づくりを図る。

- 教育公務員として法令等を遵守し、教職に関する専門性を高め、実践的な指導力を身につけるため、絶えず自己研鑽に努める。
- 教職員が地域行事等に積極的に参加するとともに、学校運営協議会を設置し、地域人材の積極的な活用を図る。
(図書・クラブ活動・花ボランティア、上下校時の見守り隊など)
- オープンスクールの実施や学校ホームページの充実により、学校の教育活動を公開する。
- PDCAサイクルにより、保護者による学校評価アンケート及び学校関係者評価の実施と公表を行い、それらを活用して教育活動等の成果を検証し改善を図る。